

OPINION

カナダ連邦政府は、企業支援のため迅速に対応し、各種の支援策を提供した。借入保証、緊急融資、賃金支払補助、賃料・家賃補助などだ。賃金支払い緊急補助では、売上実績が前年比で大幅減少した小規模企業に対し、賃金の75%までを補助。売上減少企業には、賃賃料・抵当支払の65%までを支援した。地方自治体

↑  
ナニゲーター

も、同じように支援策を提供しているが、具体的な方策は固定資産税・燃料税の減免措置などで、連邦政府とはちがいがあがる。こうした連邦政府や地方自治体が行う緊急対策の公的予算は、既にカナダの国民総生産(GDP)の25%ほど、総額6000億カナダに達

リポート コロナ禍に立ち向かう

世界のいま ~日本への提言~

(編集・翻訳 リーム中産連)

13

カナダ、具体的な公共支援策(下)

しており、公的支出による赤字解消にはかなりの年月を要すると試算される。これは悪いことのように聞こえるが、カナダはG7の中では、債務対GDP比率は最優秀の成績だ。

危機当初から迅速に対応

カナダビジネス開発銀行(BDC)は、1995年制定のカナダビジネス開発銀行法による中小企業支援法人である。BDCは相談サービスを提供して、各種の資金調達、資本投資、自己資本強化のお手伝いをして

いる。コロナ禍にあたり連邦政府はBD

Cを企業支援のための緊急融資提供者の一翼と位置づけた。BDC経営相談(アドバイザリー)サービスは、今回のような危機的状況を初めて経験する経営者に、必要な助言を数多く提供した。中小企業経営者は孤独な立場にあるとよくいわれる。BDCの役割は中小企業のリーダーか

ら信頼できる相談相手として、支援機回避後、企業の安定化のための解決策の提供をはかった。これは主に財務問題中心だが、人事、調達・供給、顧客創造、生産などにもわたる。その後は、新しいビジネスチャン

案した結果、多くが実現し、成功物語につながった。コロナ禍はまだ終息していないが、最悪の事態はほぼ過ぎている。打撃の大きい業種は弱体化したが、迅速に対応した企業や、賢明な相談を受けれた企業は、危機の最中にもチャンスを見いだすことができ

コンサルタントにとっても、これほど試練の時はかつてなかった。いかに適切で価値ある存在であり続けることができるか。パンデミックや経済危機の初期段階で、経営者ニーズに合った解決策を迅速に提供する

【グレン ヨネミツ、BDCアドバイザリーサービス マネージングディレクター】

(月曜日掲載)